

受給事例 精神疾患・知的障害

事例1 統合失調症で年間約78万円を受給できたケース

相談者	男性（50代）
傷病名	統合失調症
決定した年金額と種類	年間約78万円／障害基礎年金2級
家族構成	一人暮らし
従前の状況	無気力、抑うつ状態が続き自宅にゴミが溜まり始め生活環境が悪化していった。仕事も休みがちになり、最終的には出社できなくなり自宅にこもるようになった。幻覚妄想状態が続き措置入院となった。長い入院生活後 通院となったが、医者からは周囲の常時支援が必要との指摘を受けた。
現在の状況	意欲低下が高度で、ほとんど外出することなく1日中横になっている。部屋の電気や冷暖房も点けず、引きこもったままで、通常の日常生活が送れないでいる。
就労状況	無職

事例2 精神遅滞で年間約78万円を受給できたケース

相談者	女性（20代）
傷病名	精神遅滞
決定した年金額と種類	年間約78万円／障害基礎年金2級
家族構成	両親と同居
従前の状況	生まれつき目と目の間が広く、鼻が低い等の状態があり運動や言葉の発達もゆっくりだった。小学校では普通学級に入学したが学習についていけず小学校3年生から特別支援学級に通った。小学校4年生の時に愛の手帳4度を取得した。人が大声で話をしていると突然泣いてしまったり、苛々すると自分の頭をかきむしったりした。高校卒業後に愛の手帳3度を取得した。
現在の状況	就労移行支援を受け清掃の仕事を行っている。簡単な会話のやりとりはできるが仕事に必要な報告・連絡・相談は出来ない。またお金の計算やスケジュール管理等も一人で行うことが出来ず両親から支援を受けている。
就労状況	就労支援施設で就労中

事例3 うつ病性障害で年間約78万円（遡及分約410万円）を受給できたケース

相談者	男性（60代）
傷病名	うつ病性障害
決定した年金額と種類	年間約78万円（遡及分約410万円）／障害基礎年金2級
家族構成	妻と二人暮らし
従前の状況	会社の倒産等がきっかけでストレスを抱えるようになり、めまい、手足のしびれ等の身体症状に加え、気分の落ち込み等も続くようになったため、自宅近くの病院を受診した。うつ病と診断され月1回の通院を開始した。抗うつ薬、抗精神病薬等を服用しながら約7年間治療を受けたが改善することはあまりなかった。
現在の状況	無気力感、不安感、希死念慮、手足のしびれ、めまい等の症状があり、1時間置きにソファーへ横になるような生活のため、身の回りのほとんどのことは自分で出来ず妻にやってもらっている状況。家族と病院以外の人との接触は全く行えず自宅に引きこもる生活が続いている。
就労状況	無職

事例4 高次脳機能障害で年間約200万円を受給できたケース

相談者	男性（50代）
傷病名	高次脳機能障害
決定した年金額と種類	年間約200万円／障害厚生年金2級
家族構成	妻と子ども3人
従前の状況	約2年半前に右手先の痺れを自覚、総合病院を受診したところ脳梗塞と診断され即日入院となった。右手に軽度の麻痺が残ったため退院後もリハビリ通院、職場復帰を果たした。しかし、しばらくすると徐々に、今話した内容をすぐ忘れてたり、一つのことを続けて行えなかったりという様な症状が目立つようになり、仕事にも行けず自宅に引きこもるようになった。再度病院を受診したところ、脳梗塞の再発が判明し高次脳機能障害の診断を受けるに至っていた。
現在の状況	2～3ヶ月に1回の頻度で通院をしている。家族との会話は殆どせず1日中テレビをみてボーっと過ごしている。住所や電話番号は書く事ができず簡単な計算も難しい。就労は不可で、家事、炊事等を含め生活をする為に家族の援助が必要不可欠な状況。
就労状況	就労不可

事例5 てんかんで年間約78万円を受給できたケース

相談者	男性（50代）
傷病名	てんかん
決定した年金額と種類	年間約78万円／障害基礎年金2級
家族構成	一人暮らし
従前の状況	7歳の頃から意識を消失するてんかん発作があり服用を開始したが16歳ころから転倒発作も起こるようになった。40代の時に開頭手術を行い、直後は経過良好で症状も一時治まっていたが母親の介護を契機にストレスが増大し、意識を消失し全身けいれんをする発作が再び起こるようになった。
現在の状況	月1回通院し抗てんかん薬を数種類服用しているが月平均4回の発作が起こっている。精神的にも不安になったり落ち込んだりすることが増え、また猛烈な頭痛や倦怠感に襲われることがある。長年就労が出来ない状況である。
就労状況	無職

事例6 うつ病で年間約58万円を受給できたケース

相談者	男性（20代）
傷病名	うつ病
決定した年金額と種類	年間約58万円／障害厚生年金3級
家族構成	一人暮らし
従前の状況	3年程前に会社でパワハラを目の当たりにし、自身も突然出向を命じられたことから、落ち込む日々が続く夜眠れず体調を崩してしまい精神科を受診したところうつ状態であると診断され治療をすることになった。抗うつ剤、睡眠薬の処方とカウンセリングを受けたが症状はあまり改善しなかった。その後転院した病院でうつ病の診断を受けた。
現在の状況	現在は月1回の頻度で通院し治療を継続している。普段混んでいる電車には一人で乗車出来ず、また抑うつ気分や睡眠障害から予定通りの行動が出来ない日が多い。仕事は在宅勤務をしているが体調が悪く数時間しか作業出来ない日が大半で、仕事の期限を延期してもらったり、作業量を減らしてもらったりすることが日常的にある。家族関係は不良で頼れる人が周囲におらず生活していく為に何とか仕事をしているものの、このまま継続することが難しい状況。
就労状況	在宅勤務